

第 6 回 談話会

日時：2024 年 4 月 8 日（月）17：00～18：00

場所：キャンパスセンター 2 階 多目的ホール

ヒトと展示動物における 歯周病原性細菌の交差感染

動物園や水族館の飼育動物でも高齢化が進み、歯周病の増加が問題視されています。ある飼育施設のアシカを検査したところ、ヒト歯周病菌に感染していること、その感染パターンが飼育員の感染パターンに類似するところから、“人獣共通感染症”の可能性が示唆されました。ヒトが動物に与えている影響や動物がヒトに与える影響を「口の健康」から探ることで、ヒトと動物が培ってきた本来の豊かな生活を目指す一助になればと考えています。

講 師：島 津 徳 人 先生

麻布大学 生命・環境科学部 食品生命科学科 教授
麻布大学 いのちの博物館



1997 年に麻布大学獣医学部を卒業し、大学生時代の卒業研究で硬組織生物学に興味を持ち、日本歯科大学 生命歯学部 病理学講座に入職。口腔病変（歯周疾患や口腔腫瘍）の成立機序、顎顔面の発生と奇形、歯の発生・う蝕（むし歯）と再石灰化について研究してきました。2014 年より、現在に至るまで麻布大学 生命・環境科学部 食品生命科学科に在籍し、野菜などに含まれる香り/辛味/苦味などの機能性成分である“フィトケミカル”の口腔疾患予防効果やヒトと動物の歯周病をメインの研究テーマとしています。
2020 年からは麻布大学いのちの博物館の館長を兼務しています。

担当部署：環境病理学分野・画像診断学分野・法医学分野・
教育企画部・教養教育学分野・口腔生化学分野・
歯周病学分野・口腔細菌学分野